

地域の力磨く交流

岡山・京都 フォーラム 文化人3人が討論

さん太ホール

岡山・京都文化フォーラムが寄贈し

た約100年前のピアノ「再発見！ 地 ピアニストで歌人の

域の文化力」(山陽新聞社主催、市)、釜師大西家16代

河野美砂子さん(京都ノが残る元小学校でモ

聞社、京都新聞社主催、市)、釜師大西家16代

JR西日本特別協賛)で大西清右衛門美術館

が17日、岡山市北区柳長の大西清右衛門さん

の山陽新聞社さん太(同)、大原美術館理

ホールで開かれ、両府 事長の大原謙一郎さん

を拠点に活躍する文(倉敷市)が、江見肇

化人3人が、地域に息 山陽新聞社編集局文化

づき、交流で磨かれて 部長の司会で議論を展

開した。 介。

過去の名品を見詰

め、現代の創造に取り

組む大西さんは「工房

で釜を作っていたらばい

いと思ったが、発信す

ることで教えられるこ

ともある」と美術館開

館で広がった人との出

会いの大切さを話し

た。

大原さんは、昨年か

ら岡山、京都と続いた

国民文化祭で全市町村

が参加したことを指

摘。「どこにでも文化

の蓄積はある。長所を

認め合い、磨き合えれ

ば」と、今後の岡山と

日付朝刊に掲載予定)

京都の交流拡大に期待を示した。

討論に先立ち、河野さんがショパンらの名曲を演奏、約300人の聴衆を魅了した。

同フォーラムは岡山と京都の文化を対比させ、地域の新たな可能性を探る企画で4回目。(松山定道)

(詳細は来年1月18日付朝刊に掲載予定)

岡山・京都文化フォーラム
再発見！地域の文化力



地域に息づく文化について活発な議論が交わされた「岡山・京都文化フォーラム」